

バリ通信



2403号

『街中でやたらとブレーキを踏む車の正体』

私が自動車を運転していて意識している事は、『交通の流れをよく見て、スムーズな加減速を行い、同乗者がいる場合は停止時にハイヤーの運転手張りに（乗った事ないけど）頭が微動だに動かないくらい優しいブレーキ操作をする』事なのであります。

ブレーキに関しては停止する寸前に『スツとブレーキペダルを緩める』事でスムーズに停止出来ませんが、ブレーキペダルを踏み続けたまま停止の方も結構多く、その場合はどうしても頭が揺れる『カックンブレーキ』と呼ばれる雑なブレーキ操作になり、車酔いしやすい方は敏感に感じるかと思えます。運転しているとブレーキペダルを踏んで身体を支えるから揺れにくいのですが、同乗者はどうしても揺れちゃいますよね。もし、ご自身が運転中、停止する際に同乗者の頭が前後に揺れていたら『カックンブレーキ』になっていきますので、先に書いた『スツとブレーキペダルを緩める』停止の仕方を試みてください。

交通の流れを呼んでスムーズな加減速についての個人的な究極は、一度もブレーキを踏まずに目的地までたどり着く事ですが、信号があるし、赤信号になったからといって後続車を無視して極端に減速するのを早めて信号のはるか先からノロノロ運転すると迷惑運転になるので、加減が難しいところですよ。

バリ通信は
過去に

(有)FORZA

愛媛日産自動車(株) 勤務時代

公益社団法人 今治青年会議所

今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

ちなみに、昔のオートマチックに比べて乗用車の大半はCVTと呼ばれる無段変速機のオートマチックなので、減速時のエンジンブレーキが掛かり易く、目の前の車だけではなく、その先の交通の流れもよく見て運転すれば、かなりスムーズな加減速が可能になっています。

講釈が長くなりましたが、タイトルの『街中でやたらとブレーキを踏む車の正体』についてですが、先行車しか見ていなかったり車間距離が近すぎて頻繁にブレーキペダルを踏む車が大半なのですが、他にも原因がありまして、そういう車が一気に増えたのが平成28年11月頃からのことです。

日産ノート、e-Powerと呼ばれるエンジンで充電して走行は100%電気モーターで走るという日産起死回生のハイブリッド車（日産は新しい電気自動車の形、とCMで当時は言うていました）が正確にはハイブリッドです）が登場した事で『街中でやたらとブレーキを踏む車』が増えたのであります。

ノートe-Powerを乗る人が運転が下手という事ではなく、CMで伝えている『ワンペダルモード』と呼ばれる走行モードで走ると、ある一定の減速Gが掛かると運転手の意思とは関係なくブレーキを踏んでもいないのにブレーキランプが点灯します。

しかもブレーキランプが点灯している事は運転手からは見え
ないから当然分からない為、他人から指摘されないと気が付か
ないのです。この『ワンペダルモード』や『eペダル』と呼ばれ
る走行モードは、日産のe-Power以外でも、各社の電気自動車等の
電動車には備わっており同じ症状が出ますが、『ノーマルモー
ド』で走ると普通にブレーキペダルを踏んだ時にのみブレーキラ
ンプが点灯しますのでご安心ください。

以前からこの症状は知っておりましたが、どのくらいの減速で
ブレーキランプが点灯するか把握しようがなかったので記事に出
来ませんでした。この最近発売されている車種の場合は、液晶
メーターに車のブレーキランプが点灯していることが分かる様なグ
ラフイックが備わった車種があり、ワンペダルモード以外でもア
ダプティブクルーズコントロール（通称ACC。追従型クルーズ
コントロール）使用時も減速時にブレーキランプが点灯している
かどうかが一目瞭然です。（写真参考）



*写真は現行型の日産
エクストレイル。第二
世代e-Powerは静かで
凄く良い車です☆

もし、e-Powerの車やEVにお乗り
の方で、ノーマルモード以外を使
用している方は、この記事を参考
に『前の車、どんだけブレーキ踏
みよんねん』と突っ込まれないよ
うにご注意くださいね。

ワンペダルモードは、慣れると本当にアクセルコントロールだけ
で走れるので、ペダルの踏みかえ動作がかなり減るから本当に運
転していて楽なんですけど、後続車に『前方をよく見ていない交
通の流れを把握出来ない運転手』と思われたくないものです。

今年こそ！ 今年こそJ2昇格じゃい！

え、毎年毎年、この時期のバリ通信で今年は昇格する（は
ず）みたいな記事を書いてきましたが、J3昇格後の成績は、7
位↓11位↓5位↓4位と、残念ながらJ2昇格には至っており
ません。勿論、全チームが昇格しようと戦っている訳ですから、
簡単に勝てる訳ではないのですが、やはりJ3参入から5年目の
今季は何が何でもJ2昇格して貰いたいもんです。

ちなみに今年のJ3、1位と2位がJ2に自動昇格となるのは
今までと変わりませんが、今年は3位から6位のチームによる
『J2昇格を掛けたプレーオフ』が行われる事になりましたの
で、6位でもプレーオフで優勝すればJ2昇格出来るのです。

『あ、じゃあ昇格出来る確率高いやん！？』と思っちゃうかもし
れませんが、2位までに入る可能性が消えたチームも『6位まで
に入れば・・・』と頑張るので、実力差の少ない戦力が拮抗した
リーグなので、更に混戦を極める展開が予想され、連敗でもした
ら取り返すのが大変なことになると思います。違う見方をすれば3位に
なっても昇格出来ない可能性もあるので、個人的にはプロ野球の
クライマックスシリーズ同様に反対派なのですが、良い方向
に進むことを期待します。そんな中迎えた2月25日開幕戦、直
前に期待の新人FW2人が怪我をするという前途多難なスタート
となりましたが、何とか開幕白星スタートとなりました。ちなみ
に開幕戦のキックオフ前とハーフタイムに、以前所属していた今
治寿太鼓保存会のOBとしてスタジアムで演奏をしたのですが、
実は寿太鼓が叩いた日の試合では、FC今治は無敗なのです！
私の記憶が確かなら（懐かしいフレーズ）、ですが・・・